

市政を問う！

第3回定例会

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考え方を聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



常世田 正樹 議員



学校教育の充実について

問

市内小・中学校において、教員等の人数が不足しているようであるが、近年、どうして教員を志す人が減少してしまったのか教育長に伺う。

答

かつては「子どもたちのためなら」と、教員としての使命感にあふれた、聖職者としての思いから、勤務時間を気にせず休日も返上で働くといった風潮があり、それが長らく続いてきた。

近年では、ワーク・ライフ・バランスや働きやすさ重視へと国民の職業に対する考え方も変化しており、課題が山積し、過重労働や長時間労働のイメージが強い教職が敬遠されるようになつたと考える。現在、本市の小・中学校では、多くの教職員が本来の業務に加え様々な負担を抱えながらも、子どもたちの成長と笑顔のために精いっぱい力を尽くしてくれている。その努力が子どもたちの未来を支え、地域社会の希望を築いており、

防災力の強化について

問

市長は常日頃より市民の生命と財産を守ることが行政の使命であると明言している。中学校の体育館への空調設備の設置を来年度から行うという決断は素晴らしいが、小学校の体育館への空調設備の設置もまた早急に実行しなければならないと思う。市長の見解を伺う。

答

学校の体育館は、学校教育活動で使用するほか、災害時の地域住民の避難場所として良好な環境の確保の観点からも重要な役割を担っている。夏場の熱中症対策や冬場の厳しい寒さからの二次的な健康被害を防ぐためなど、総合的な防災機能強化の観点からも空調設備の必要性は十分に認識している。小学校体育館への設置は、まずは統合を控えたひかた椿小学校への設置を進め、順次市内の小学校についても学校再編の進捗状況を見極めながら積極的に設置できるよう検討を進めていく。

本市教育委員会を代表する者として、深く胸を打たれる思いである。

その他質問事項

- 日本人と外国人の双方が住みやすくなるまちづくり
- 海外都市との姉妹都市協定

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像をご覧いただけます。